

発刊にあたり

海匠地域は、豊かな耕地と温暖な気候に恵まれ、野菜・畜産・水稲・花き等、バランスよく生産されています。農業者、関係機関の皆様のたゆみない努力により、平成 29 年の農業産出額は約 991 億円と県全体の 2 割を占め、千葉県農業の牽引役となっています。

そこで、県内一の農業産地「食の宝庫 海匠」の更なる発展に向けて、海匠農業事務所改良普及課では

- 1 野菜の生産力強化と産地の維持・発展
- 2 海匠農業の発展を目指す経営基盤強化
- 3 海匠農業を支える多様な担い手の育成

これら 3 つの主要な普及指導課題を設定し、課題解決に向けて銚子市、旭市、匝瑳市、ちばみどり農業協同組合、試験研究機関などの関係機関と、また農家との連携協力のもとに普及活動を進めてきました。

令和元年度は、9 月の台風 15 号など記録的な強風や大雨により、海匠地域では農作物やハウス、畜舎等の農業用施設に約 33 億円と甚大な被害が発生するなど、大変厳しい状況が続いています。一日も早い復旧復興に向けて、関係団体と連携しながら補助事業などの支援を進めているところです。

このような中、今年度は環境制御技術の向上によるきゅうりの収量増加、畜産経営における ICT 導入による繁殖改善などのスマート農業の実践による経営改善などの効果的な普及活動を展開してきました。

また、出荷量拡大による園芸産地の維持・強化、規模拡大と生産性の向上による畜産産地の強化、耕畜連携強化による飼料用米・WCS の生産安定と利用拡大、営農組織の育成・強化による水稲経営の安定、海匠農業の担い手である認定農業者・農業後継者及び女性農業者の育成、GAP（農業生産工程管理）の推進などにも取り組みました。

このたびは、それら活動の中から 18 課題を普及活動の成果として取りまとめました。これらの事例を地域の農業振興にご活用いただければ幸いに存じます。

終わりに、普及事業に対して御理解と御協力を賜り深く感謝申し上げますとともに、今後ともより一層の御支援をいただきますようお願いいたします。

令和 2 年 3 月

海匠農業事務所 所長 三嶋 啓治